

Title	学位授与者氏名及び論文題目
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学大学院社会学研究科
Publication year	1999
Jtitle	慶應義塾大学大学院社会学研究科紀要：社会学心理学教育学 (Studies in sociology, psychology and education). No.50 (1999.), p.37- 38
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	学事報告
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN0006957X-00000050-0037

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

学 事 報 告

学位授与者氏名及び論文題目

修 士 (平成 12 年 3 月)

社会学修士 (社会学専攻のもの)

- 第931号 櫻井 平 ルイス・ワースのライフヒストリーとシカゴ学派社会学—知識社会的考察—
- 第932号 津金 真理 自閉症児を持つ母親の養育に関する探索的研究
- 第933号 李 和真 「利用と満足研究」アプローチによるイベントの機能分析—展示会イベントを中心として—
- 第934号 劉 曉丹 在日中国人の社会的ネットワークと家族生活—在日中国人の家族生活と社会生活の調査を踏まえて—
- 第935号 李 美現 購買者のショッピング同伴者選択行動
- 第936号 杜 新 現代日本における若者の労働観
- 第937号 森原 隆太 高齢者の死に対する態度
- 第938号 有本 和晃 スクールカウンセラーに対する教員のニーズに関する研究
- 第939号 石井香世子 タイにおける山地民概念の変遷と山地民—チェンマイ市内リスの事例から—
- 第940号 最上知英子 Christian Feminist Theology の一般的構図と個別的問題
- 第941号 吉岡 孝弘 ある発達障害者の生理的要因にアプローチした援助の事例
- 第942号 伊藤 直紀 「第三国国民」とは何か
- 第943号 佐藤 純 タイの日系企業におけるタイ人従業員の異文化間葛藤と組織コミットメント
- 第944号 深沢 由紀 気分と音楽選択
気分と音楽選択との関係性及び選択された曲の傾向について

での検討

- 第945号 五十嵐史総 ルイ・アルチュセールにおける実践
- 第946号 酒井 渉 防衛機制の測定に関する研究—防衛スタイル質問紙 (DSQ) とロールシャッハ・テストとの関連について—
- 第947号 福田 光弘 空間論から都市論へ—H. ルフェーブル『空間の生産』を手掛かりに—
- 第948号 鎌形 悦子 セラピーにおける物語の機能—社会的視点による考察—
- 第949号 斉藤日出夫 セクシュアル・マイノリティのアイデンティティ・ポリティクスについて
- 第950号 大貫 拳学 カテゴリー化装置としての「家父長制」—マルクス主義フェミニズム理論の批判的検討—
- 第951号 萩原 豪人 スクール・カウンセラーの役割—SC が認識する現状・課題・展望—
- 第952号 並木亜弥子 学級風土に関する研究
- 第953号 中村 裕子 学校カウンセリング・サービスに関するニーズ・アセスメントの研究
- 第954号 加藤 純 若者を中心とする「かわいい至上主義」の分析と検討

心理学修士 (心理学専攻のもの)

- 第955号 太田 綾子 知的障害者の就労継続の規定因および離転職観に関する研究
- 第956号 岡野 浩子 成人のタイプ A 行動とストレス関連要因に関する研究
- 第957号 草山 太一 条件性場所選好を用いたプランナリアにおけるドーパミン作

- 用薬の強化効果
- 第958号 新山 紀子 児童期における今日的課題に関する1研究
—いじめ・不登校に対する意識の変化—
- 第959号 石井 拓 デンショバトにおける強化遅延中の選好逆転現象についての研究
- 第963号 神原 成之 投影同一化理論をふまえて～数学教育に生かす数学の歴史—
—数学の歴史が高等学校における数学教育に寄与する可能性を探る—
- 第964号 吉田多美子 教師の文学教育における信念と、その授業行動への影響—
—中2教材“夏の葬列”における検討—
- 第965号 吉野 剛弘 明治35年から40年の旧制高等学校入試における全国総合選抜制度に関する考察
- 第966号 松永麻也子 新入学児の適応過程—
—配慮を要する児童の事例から—
- 第967号 岡本 聡 『人間性と行為』におけるデューイ「習慣」概念の教育的意義—
—コンテクスト、個性、行為と思考—
- 第968号 飯高 晶子 子どもの経済世界—
—価格の概念と経済的推論—

教育学修士（教育学専攻のもの）

- 第960号 番匠 洋一 C. R. ロジャーズの思想形成過程における「教育」の構想について
- 第961号 垣花真一郎 「日本語話者の音韻構造と英語単語の読みの習得について」
- 第962号 藤井 良隆 私が他者を記述する際に、私が投影する感情を相手が抱いているかどうかを判断するものは何か
～トーマス・H・オグデンの

博士（平成11年度）
社会学博士（平成11年7月14日）

大学院社会学研究科委員
社会学博士 井関 利明

甲 第1758号 三島 一郎

論文審査の要旨

セルフ・ヘルプ・グループの Empowerment
機能に関する研究
—精神障害回復者クラブとそのメンバー
の Empowerment に関する評定研究—

〔論文審査担当者〕

主査 慶應義塾大学文学部教授・
大学院社会学研究科委員
文学修士 山本 和郎

副査 東京都立大学人文学部教授
社会学修士 久保 紘章

副査 慶應義塾大学総合政策学部教授・

三島一郎君提出の学位請求論文「セルフ・ヘルプ・グループの Empowerment 機能に関する研究-精神障害回復者クラブとそのメンバーの Empowerment に関する評定研究」は、セルフ・ヘルプ・グループの独自の機能である Empowerment の機能を真正面から取り上げ評定研究を行なった研究である。従来のセルフ・ヘルプ・グループの評定研究は医療モデルや心理療法モデルによる評定研究であり、それはセルフ・ヘルプ・グループに参加することでもたらされる成果を評価するという点では意味があったが、セルフ・ヘルプ・グループの本来の効果の評定しているとはいえなかった。本研究は、セルフ・ヘルプ・グループの中核の機能である Empowerment 機能の評定尺度を作成し評価を行ない、さらにそ